

●コース距離：13.1km
●歩行時間：4.5時間

- ①新小岩駅
↓1.2km
- ②於玉稲荷
↓1.6km
- ③寿昌院（松本弁天）
↓1.4km
- ④鹿見塚神社
↓1.2km
- ⑤篠崎公園
↓0.8km
- ⑥浅間神社
↓0.8km
- ⑦江戸川グラウンド
↓1.4km
- ⑧善養寺（小岩不動）
↓4.0km
- ⑨山本邸
↓0.4km
- ⑩柴又帝釈天（題経寺）
↓0.1km
- ⑪帝釈天参道
↓0.2km
- ⑫柴又駅



⑪ 帝釈天参道

柴又駅から柴又帝釈天までの約200mの参道で、数多くの飲食店やお土産店などが軒を連ねる。草だんご、くずもち、おせんべいや鯉・どじょうなどの川魚がこの参道の名物となっている。

⑩ 柴又帝釈天（題経寺）

映画「男はつらいよ」で全国的に有名になった日蓮宗の寺院で正式名は題経寺。寛永6（1629）年に開かれた。現在も柴又の帝釈天として信仰を集め、多くの参拝客で賑わっている。



⑧ 善養寺（小岩不動）

大永7（1527）年に建立されたといわれる真言宗の寺院。江戸時代には幕府より寺領10石の御朱印を受けた。境内には不動明王を祀った不動堂があるほか、東京都指定記念物の樹齢600年といわれる影響の松（ようごうのまつ）がある。



⑨ 山本邸

カメラ部品メーカーの社長だった山本栄之助氏の自宅だった建物で、柴又帝釈天に隣接している。昭和63（1988）年に葛飾区が取得し、平成3（1991）年から一般に公開されている。和洋折衷の造りとなっており、池泉、築山、滝などを設けた庭園も一見の価値がある。



⑥ 浅間神社

天慶元（938）年の創建といわれ、江戸川区内で最も古い神社。天慶3（940）年、平将門の乱を鎮めるため、平貞盛が参拝し勝利を祈願したと伝えられている。江戸時代後期から周辺よりの参詣者が増え、大いに賑わった。約4,000坪の境内には多くの樹木が生い茂り、昔からせんげん様の森として親しまれていた。



⑤ 篠崎公園

野球場、テニスコート、バーベキュー広場、児童遊園、芝山などが整備されている都立の公園。A地区とB地区（飛び地）の2つのエリアに分かれる。8月には江戸川花火大会の観覧会場、秋には江戸川区民祭りの会場となり多くの人で賑わう。



⑦ 江戸川グラウンド

北は京成江戸川駅から南は京葉道路付近までの江戸川河川敷に作られた総合グラウンド。野球、ソフトボール、サッカー、ラグビー、ゲートボールなど数多くの球技ができるグラウンドが整備されている。



⑫ 柴又駅

京成金町線の駅で大正元年開業。瓦葺風の駅舎により「関東の駅百選」に選定されている。1日の乗車人数は約4,600人。



Walking Course

快汗ウォーキングコース

於玉稲荷、寿昌院、篠崎公園、浅間神社、善養寺、山本邸、柴又帝釈天など、江戸川区と葛飾区を歩く半日コース

柴又駅にある寅さん像



① 新小岩駅

葛飾区新小岩にあるJR総武本線の駅で昭和3（1928）年開業。1日の乗車人数は約75,000人。

② 於玉稲荷

もともとは神田お玉が池（現在の千代田区岩本町）にあった繁栄お玉稲荷大明神の分社であったが、安政2（1855）年の大地震で本社が焼失したため、明治4（1871）年に現在地に移された。



③ 寿昌院（松本弁天）

約350年前の寛文年間に寿昌禅尼によって開かれた黄檗宗の寺院。禅尼が病氣快癒を祈願して弁財天を祀ったのが始まりといわれ、通称松本弁天として知られる。境内には四方に枝を広げた樹齢270年の臥龍の松（がりゅうのまつ）がある。



④ 鹿見塚神社

江戸川区鹿骨（しほね）にある神社。鹿島大神が常陸から大和の春日社に向かう途中に、その杖としていた神鹿が病気で倒れ、その鹿を葬った塚と伝えられており、鹿骨という地名の由来となった。